

症例 1

【症例概要】

- 年齢：70 歳代
- 性別：女性
- 採取材料・部位・器具・処理法等：甲状腺右葉腫瘍・穿刺吸引細胞診・通常塗沫・Papanicolaou 染色
- 臨床情報：右頸部腫瘍を自覚して近医受診。腎癌（50 歳代）及び卵巣癌（50 歳代）の既往あり

【回答選択肢】

1. 腺腫様甲状腺腫
2. 濾胞性腫瘍
3. 乳頭癌
4. 髓様癌
5. 転移性癌

症例 2

【症例概要】

- 年齢：80 歳代
- 性別：男性
- 採取材料・部位・器具・処理法等：胸水・左胸腔・遠心後、ストリッヒ法にて作製
- 臨床情報：体調不良を主訴に近医を受診。急激な体重増加、頻脈、乏尿がみられ、精査の結果、心不全増悪が疑われ当院に緊急搬送された。著明な体腔液貯留を認め、細胞診検査として胸水が提出された。

【回答選択肢】

1. 巨核球の混入
2. 肺腺癌
3. 成人 T 細胞性白血病/リンパ腫（ATL）
4. 体腔液貯留関連大型 B 細胞性リンパ腫（FO-LBCL）
5. 中皮腫（肉腫型）

症例 3

【症例概要】

- 年齢：70 歳代
- 性別：女性
- 採取材料・胆汁（ENBD） 処理法等：LBC 法（BD サイトリッチ）
- 臨床情報：慢性肝障害で経過観察中に、CT で肝外側区域の胆管拡張、MRCP で左葉肝内胆管の狭窄を認めた。
- 既往歴：糖尿病、高血圧、高脂血症

【回答選択肢】

1. 良性異型細胞
2. 腺癌
3. 腺扁平上皮癌
4. 扁平上皮癌
5. 肝細胞癌

症例 4

【症例概要】

- 年齢：20 歳代
- 性別：女性
- 採取材料・部位・器具・処理法等：右鼠径部腫瘍 生検時圧挫標本
- 臨床情報：右鼠径部外陰部周囲皮下に、1 cm 大の腫瘤。緩徐な経過での増大あり。画像上小さく特徴的所見はなく切除生検施行。リンパ細網性病変の可能性があり、女性の外陰部周囲として cellular angiofibroma が考えられる。

【回答選択肢】

1. 結節性筋膜炎
2. 類上皮肉腫
3. 転移性癌
4. cellular angiofibroma
5. 悪性黒色腫

症例 5

【症例概要】

- 年齢：70 歳代
- 性別：女性
- 採取材料・部位・器具・処理法等：腫瘍捺印
- 臨床情報：軟部腫瘍にて、右腎を含む後腹膜腫瘤の摘出術を施行

【回答選択肢】

1. 脱分化型脂肪肉腫
2. 粘液線維肉腫
3. 癌肉腫
4. 多形型横紋筋肉腫
5. 大腸癌の転移